《第121回》　令和五年七月の作品

〈七月十四日（金）　於・文京区民センター３Ｅ〉

松が枝に動かぬ蛇のまなこかな　（一江）

胡瓜もみ少し甘きは母の味　（隆治）

炎天やリアスに延びる防潮堤　（貴美）

夏霧の天城山（あまぎ）を望みゴルフかな　（孝昭）

明け方の海へ駆け出す子亀たち　（前歩）

サッカー少年走る蹴る跳ぶ梅雨最中　（奉男）

片陰や開店を待つ人の列　（正雄）

亡き母をしのびて仕込む一夜酒　（芙紗）

一周忌法要

蝉時雨故人を偲ぶ同期会　（正佳）

手をつなぎ園児らの列濃あぢさゐ　（平六）